

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合
理事長 宮本 弘 様

団体名	特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家	
代表者名	理事長 小岩孝子	
連絡先	TEL : 022-241-0858 FAX : 022-241-0858	E-mail nikoniko@w2.dion.ne.jp

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	心の輪事業～みんなの居場所づくり&家庭教育支援～
事業の目的	当法人の目標でもある「誰にも優しい街づくり」の一環として、家庭教育の歪みから心の病や発達に支障をきたしている子どもたちの居場所づくりと自己肯定感、自己有用感を高める活動、及び相談できる場所づくりを目指す。
事業の具体的内容	<p>1) 家庭教育支援</p> <p>* 自己肯定感、自己有用感を高める活動 【西宮阪急百貨店さんへお礼の活動】</p> <p>① 和太鼓演奏・・・ほうねん座さんの指導 かっこ和太鼓隊の活動に参加し、和太鼓演奏を学ぶ。</p> <p>② 紙芝居づくり・・・手作り紙芝居を作成</p> <p>2) 就労支援活動</p> <p>* ひきこもりや発達障害児童が活動できる居場所 「防災・減災ワークショップ」の防災教育教材製作 H24,25年度仙台市市民協働提案制度で開発した防災・減災ワークショップ「仙台発そなえゲーム」やH26年度仙台市教育委員会元気アップ事業で開発した「防災・減災学習プログラム」を防災教育教材としての製作</p> <p>3) 相談できる場所づくり～にこ・あい・ネット～</p> <p>* 子育て何でも相談 内容：子育て・子育て応援として、家庭教育支援を図る 対象：子育て中の親子 アドバイザー：元校長先生・元教師・事務局など</p>

	<p>今回助成金が削減したこともあり、家庭教育の歪みから心の病や発達に支障をきたしている子どもたち、コミュニケーションのとりにくさなどからひきこもりになっている子どもたちの日中の居場所作りはとりやめ、1)～3)の取り組みを行った。</p>
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>1) 家庭教育支援 *自己肯定感、自己有用感を高める活動 【西宮阪急百貨店さんへお礼の活動】 東日本大震災の翌年から、にこにこの家に絵本を送ってくださっている西宮阪急百貨店絵本売り場のみなさんへのお礼のために、和太鼓の演奏と手作り紙芝居の発表に小学生3年生～5年生4人が取り組む活動。</p> <p>① 和太鼓演奏・・・ほうねん座さんの指導を受け、かにつこ和太鼓隊の活動に参加し、和太鼓演奏を学んだ。1ヶ月に1回練習をした。</p> <p>② 紙芝居づくり・・・手作りのお礼の紙芝居を作成 まるごと児童館のイベントや東四郎丸児童館のクリスマス、にこにこの家感謝祭などでも発表した。 夏休みや秋休みに集まり作成。冬休みに完成した。 12月25日(水)西宮阪急百貨店で店長及び子ども売り場課長と打合せ 3月20日に子ども売り場の会場で和太鼓演奏と紙芝居発表決定。 1月30日(木)西宮阪急百貨店子ども売り場担当者来仙。児童館で子どもたちが紙芝居の発表を行った。「感動した」「とても楽しみだ」と好評を博した。 3月20日(金)西宮阪急百貨店で発表。新型コロナウイルス感染の影響のため延期となった。</p> <p>2) 就労支援活動 *ひきこもりの子や発達障害児童が活動できる居場所～「防災・減災ワークショップ」の防災教育教材製作～ H24,25年度仙台市市民協働提案制度で開発した防災・減災ワークショップ「仙台発そなえゲーム」の製作</p> <p>20代の男性が参加。南部アーチルの相談員さんから、相談時に本人が「にこにこの家で仕事をしている」と話していたこと、自分の居場所を見つけてきていると報告をいただいた。</p> <p>3) 相談できる場所づくり ～にこ*あい*ネット～ 「にこ*あい*ネット」は子育て何でも相談コーナー ・月1回～2回開催 ・子育て・子育て応援として、家庭教育支援を図るため、アドバイザーとして、元校長先生・元教師・理事長などが対応 ・発達障害の子どもを持つ親の相談や、ひとり親の相談などがあつた。</p> <p>○「にこ*あい*ネット」の(あい)は愛・合い・会い・逢い・I・・・自分の存在を認め、笑顔でつながっていったらという願いから名付けました。</p>

活動の成果と教訓	<p>1) 家庭教育支援 *自己肯定感、自己有用感を高める活動 子どもたちに「できる」という思いが生まれたことが、大きい成果である。</p> <p>2) 就労支援活動 *ひきこもりの子や発達障害児童活動できる居場所 「仕事をしている」という意識が持てたことを今後も継続していけるよう取り組む必要がある。</p> <p>3) 相談できる場所づくり *子育て何でも相談コーナー「にこ*あい*ネット」 地域の小・中学校の協力を得て、職員室前に掲示。今後は広報に力を入れて、周知を図る必要がある。</p>
今後の展望など	<p>子育て・子育て応援社会の実現を目指し、家庭教育、学校教育、福祉教育の重なり合う輪の中で、様々な支援団体や協力者と共有し、実施することから、自分の可能性を見つけていける子育て、孤立しない子育て支援の成果が得られた。</p> <p>今回は予算の面や新型コロナウイルス感染の影響で実施できてないこともあったので、次年度も継続して実施をする予定である。</p> <p>「伝え合う・認め合う・支え合う」を念頭に、今後も「誰にも優しい街づくり」を目指す。</p>

2、 助成金使途報告書

■収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	100,000	
自己資金	31,540	
合計	131,540	

■支出の部 0

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
1 消耗品費	コピー用紙 5 マジックペンなど 5	10,000	0
2 印刷費	防災・減災ワークショップ冊子・マップ印刷	234,000	0
3 制作費	ファイルボックスなど	100,000	0
4 講師謝礼費	ほうねん座 50	50,000	50,000
5 役務費	切手代など	5,000	0
6 その他	縮太鼓セット 2台	81,000	81,540
合計		480,000	131,540

1) 家庭教育支援

* 自己肯定感、自己有用感を高める活動づくり

【西宮阪急百貨店さんへお礼の活動】

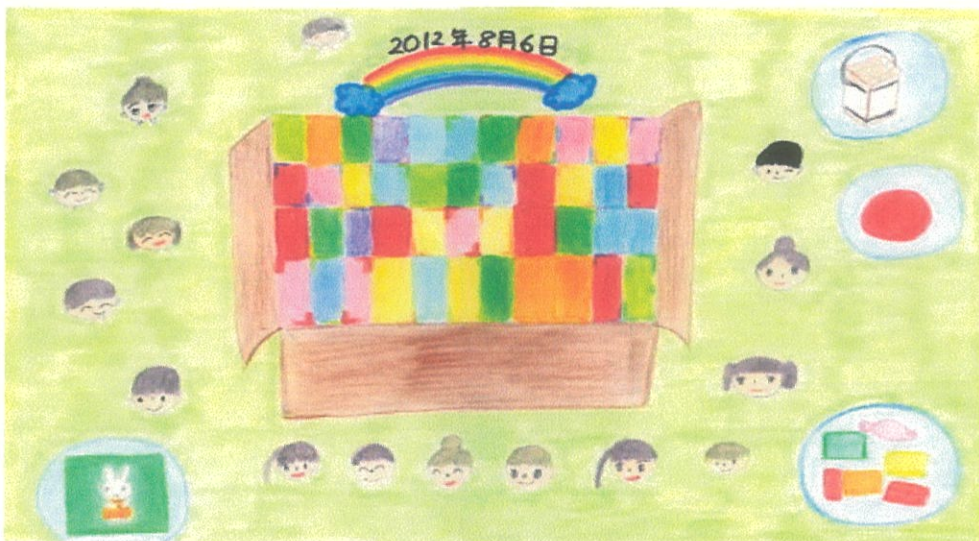
・和太鼓練習



・紙芝居発表

西宮阪急百貨店担当者さんの前で









「ありがとう」	「げんきになりました」	「みんな元がおに なりました」	「ありがとう」	「わたしたち	「ありがとう」	「みんなのいのちはじぶんでまもります」	「ありがとう」	「ほんとうのやさしさをしるごうができました」	「みなさんとの	「ありがとう」	「ありがとう」
---------	-------------	-----------------	---------	--------	---------	---------------------	---------	------------------------	---------	---------	---------

20 × 20

2) 就労支援活動

*ひきこもりの子や発達障害児童活動できる居場所

3) 相談できる場所づくり



～にこ＊あい＊ネット～

「にこ＊あい＊ネット」は子育て何でも相談コーナー